

令和5年度第2回刈谷市青少年問題協議会議事録

日 時	令和6年2月8日(木) 10時00分～11時35分
場 所	刈谷市役所 101会議室
出席者	委員 19名(欠席2名) 事務局 5名
1 議 題	<p>(1) 令和5年度刈谷市青少年関係事業について 事務局より報告</p> <p>【主な質問等】</p> <ul style="list-style-type: none">二十歳の集いの参加者数はコロナ禍前と比べると変化はあったか。 →微減はしたものの6割後半から7割前半で推移をしており大きな変化はなかった。 <p>(2) 青少年の健全育成に関する取組み状況等について 各委員より説明</p> <p>【主な質問等】</p> <ul style="list-style-type: none">ジュニアリーダーの今現在の状況はどうか。 →コロナの影響で完全に活動が止まっているため、現在の状況に関しても開催予定の打ち合わせにて知ることになる。現状を知ったうえでこれから動き始めようとしている。子ども会の人手不足問題に対する提案 →自治会等地域の団体に協力を求めると子育てが終わった地域の人や高校生、大学生にも声がかかるのではないか。子ども会に入らない理由として、親が役員を担う必要があるということがあげられる。その部分を地域の人々に手伝ってもらうことで役員の負担を軽くすることができると思われる。 <p>(3) こども基本法に関する取組みについて 各委員より説明及び豊田市の子どもの権利学習についての紹介</p> <p>(4) 不登校児童生徒の居場所づくりについて 各委員より説明</p> <p>【主な質問等】</p> <ul style="list-style-type: none">学校や学校外の施設とのつながりが無い児童生徒はどの程度いるのか。 →多くの児童生徒はほっとルームやすこやか教室、保健室・夕方登校、オンライン登校等で学校や学校外の施設と何らかのつながりがあり、どこともつながりのない児童生徒は数名程度である。保護者に対する支援に関してはどのようなものがあるか。 →情報交換会や進路説明会を開催し、情報共有や将来への不安について相談することのできる機会を設けている。他にも学校に配置されている心の教室相談員からスクールカウンセラーや専門機関へつなげることもある。また、刈谷市の子ども相談センターへ相談することを勧めることも多い。
2 その他	事務局より事務連絡